

注：本事務連絡の内容は許可届出使用者及び許可廃棄業者の方のみに関係があります。表示付認証機器届出使用者、届出販売業者及び届出賃貸業者の方は参考情報としてご覧下さい。

平成20年3月25日  
事務連絡

許可届出使用者  
表示付認証機器届出使用者  
届出販売業者  
届出賃貸業者  
許可廃棄業者 御中

文部科学省科学技術・学術政策局  
原子力安全課放射線規制室

#### 放射線管理状況報告様式の改定について

日頃から放射性同位元素等の管理にご尽力いただきありがとうございます。

放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第42条第1項及び同法施行規則第39条第3項の規定に基づき、毎年、4月1日からその翌年の3月31日までの期間について、放射線管理状況報告を行っていただいておりますが、今般、貴事業所において保管されている廃棄された放射性同位元素若しくは廃棄された放射性同位元素によって汚染された物について、その状況を併せて報告していただくよう施行規則の改正を行い本年3月31日に公布する予定ですので、お知らせいたします。

具体的な改正部分は同封様式第五十の下線部分です。平成19年度の放射線管理状況報告書の提出の際には、同封の様式に従って提出していただきますようお願いいたします。

なお、届出販売業者及び届出賃貸業者用の報告様式には変更はありません。表示付認証機器届出使用者は報告の義務がありません。

(同封資料)

- 様式第五十(第39条第3項関係) 1 放射線管理状況報告書(許可届出使用者)
- 様式第五十(第39条第3項関係) 4 放射線管理状況報告書(許可廃棄業者)
- 参考(200リットルドラム缶換算値の算出例について)

(参考)

様式は、<http://www.anzenkakuho.mext.go.jp/boushihou/list.html> からダウンロードできます。

(本件の問い合わせ先)

文部科学省 科学技術・学術政策局  
原子力安全課 放射線規制室  
電話 03-6734-4043

様式第五十 (第39条第3項関係)

1 放射線管理状況報告書 (許可届出使用者)

整理番号 (注1)		
-----------	--	--

年度 放射線管理状況報告書 (許可届出使用者)

年 月 日

文 部 科 学 大 臣 殿

氏 名 (法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)



放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第42条第1項及び同法施行規則第39条第3項の規定により、次のとおり報告します。

氏 名 又 は 名 称					
法人にあつては、その代表者の氏名					
住 所		郵便番号 ( ) 都 道 府 県		電話番号 ( )	
許可証の年月日及び番号 又は法第3条の2第1項の届出をした年月日 (注2)					
工 場 又 事 業 所	名 称				
	所 在 地	郵便番号 ( ) 都 道 府 県		電話番号 ( )	
1. 施設等 の点検の 実施状況	実施回数		直近の実施年月日	年	月 日
	点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたとき 又は講ずる予定のときは、その内容(注3)				
2. 密封さ れていな い放射性 同位元素 の保管の 状況 (注4)	種 類 (注5)				
	減 衰 補 正 の 有 無				
	受 入 数 量 (注6)				
	払 出 数 量 (注7)				
	保 管 数 量 (注8)				
3. 密封さ れた放射 性同位元 素の保管 の状況 (注9)	種 類 及 び 数 量 (注10)				
	受 入 個 数 (注11)				
	払 出 個 数 (注12)				
	保 管 個 数 (注13)				

4. 放射性同位元素等の保管廃棄の状況	種類及び数量(注14)						
	保管廃棄本数(注15)						
5. 放射線業務従事者数(人)							
6. 個人実効線量分布	1年間の線量(mSv)	5以下	5を超え 15以下	15を超え 20以下	20を超え 25以下	25を超え 50以下	50を超えるもの
	放射線業務従事者数(人)						
7. 女子の放射線業務従事者の実効線量分布(注16)	女子の放射線業務従事者数(人) (注17)						
	3月間の線量(mSv)		1以下	1を超え 2以下	2を超え 5以下	5を超えるもの	
	女子の放射線業務従事者数(人)	第一・四半期					
		第二・四半期					
		第三・四半期					
第四・四半期							

- 注 1 「整理番号」 この欄には、記載しないこと。
- 2 「許可証の年月日及び番号又は法第3条の2第1項の届出をした年月日」 法第3条の2第1項の届出の際に通知された届出番号がある場合には、当該届出番号を併せて記載すること。
- 3 「点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたとき又は講ずる予定のときは、その内容」 様式中に書ききれないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙に記載すること。
- 4 「密封されていない放射性同位元素の保管の状況」 注3の例により記載すること。
- 5 「種類」 許可証に放射性同位元素の番号が記載されているものにあつては、当該番号を記載すること。
- 6 「受入数量」 期中において受け入れた数量を記載すること。
- 7 「払出数量」 期中において払い出した数量を記載すること。なお、当該計算を行う際に減衰補正を行った場合には、減衰補正により減少した数量を加えること。
- 8 「保管数量」 期末における保管数量を記載すること。
- 9 「3. 密封された放射性同位元素の保管の状況」 注3の例により記載すること。
- 10 「種類及び数量」 許可使用者にあつては、注5の例により記載すること。
- 11 「受入個数」 期中において受け入れた個数を記載すること。
- 12 「払出個数」 期中において払い出した個数を記載すること。
- 13 「保管個数」 注8の例により記載すること。
- 14 「種類及び数量」 期末において保管廃棄設備に保管廃棄されている合計数量を核種ごとに記載すること。
- 15 「保管廃棄本数」 期末において保管廃棄設備に保管廃棄されている本数を記載すること。なお、本数は200L容器に換算した本数を記載すること。
- 16 「女子の放射線業務従事者の実効線量分布」 5. 放射線業務従事者数、6. 個人実効線量分布の人数の内数とする。
- 17 「女子の放射線業務従事者数」 妊娠不能と診断された者、妊娠の意志のない旨を許可届出使用者に申し出た者を除く。
- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

年度 放射線管理状況報告書 (許可廃棄業者)

年 月 日

文 部 科 学 大 臣 殿

氏 名 (法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

㊟

放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第42条第1項及び同法施行規則第39条第3項の規定により、次のとおり報告します。

氏 名 又 は 名 称					
法人にあつては、その代表者の氏名					
住 所		郵便番号 ( ) 都 道 府 県		電話番号 ( )	
許 可 証 の 年 月 日 及 び 番 号					
廃棄事業所	名 称				
	所 在 地	郵便番号 ( ) 都 道 府 県		電話番号 ( )	
1. 施設等の点検の実施状況	実 施 回 数		直 近 の 実 施 年 月 日	年	月 日
	点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたとき又は講ずる予定のときは、その内容 (注2)				
2. 放射性同位元素等の廃棄の状況 (注3)	種 類				
	受 入 数 量				
	保 管 数 量 (注4)				
	廃 棄 数 量				
	払 出 数 量				
保 管 本 数 (注5)					
3. 放 射 線 業 務 従 事 者 数 (人)					

4. 個人実効線量分布	1年間の線量(mSv)		5以下	5を超え 15以下	15を超え 20以下	20を超え 25以下	25を超え 50以下	50を超える もの
	放射線業務従事者数(人)							
5. 女子の放射線業務従事者の実効線量分布(注6)	女子の放射線業務従事者数(人) (注7)							
	3月間の線量(mSv)		1以下	1を超え 2以下	2を超え 5以下	5を超える もの		
	女子の放射線業務従事者数(人)	第一・四半期						
		第二・四半期						
		第三・四半期						
第四・四半期								

注 1 「整理番号」 この欄には、記載しないこと。

2 「点検の結果に基づいて補修等の措置を講じたとき又は講ずる予定のときは、その内容」 様式中に書ききれないときは、「(詳細については別紙のとおり)」と記載し、別紙に記載すること。

3 「2. 放射性同位元素等の廃棄の状況」 注2の例により記載すること。

4 「保管数量」 期末における保管数量を記載すること。

5 「保管本数」 期末において廃棄物貯蔵施設及び保管廃棄設備に保管されている本数を記載すること。なお、本数は200L容器に換算した本数を記載すること。

6 「女子の放射線業務従事者の実効線量分布」 3. 放射線業務従事者数、4. 個人実効線量分布の人数の内数とする。

7 「女子の放射線業務従事者数」 妊娠不能と診断された者、妊娠の意志のない旨を許可廃棄業者に申し出た者を除く。

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

## 200ℓドラム缶換算値の算出例について

廃棄物の種類*1	実際の保管量*1	換算の考え方*2
可燃性固体	・ 50ℓドラム缶 9本 (8本 100%充填+1本 40%充填)	50ℓドラム缶 9本のため、容積は 450ℓとなる。
難燃性固体	・ 50ℓドラム缶 5本 (3本 100%充填+1本 60%充填+1本 30%充填)	50ℓドラム缶 5本のため、容積は 250ℓとなる。
不燃性固体	・ 50ℓドラム缶 7本 (5本 100%充填+1本 80%充填+1本 20%充填)	50ℓドラム缶 7本のため、容積は 350ℓとなる。
焼却型フィルタ*3	・ ヘパフィルタ：2枚 (610mm×610mm×290mm：107.9ℓ/枚) ・ プレフィルタ：4枚 (610mm×610mm×50mm：18.6ℓ/枚)	・ ヘパフィルタは、107.9ℓタイプ 2枚のため、容積は 216ℓとなる。 ・ プレフィルタは、18.6ℓタイプ 4枚のため、容積は 74ℓとなる。
通常型チャコール フィルタ*3	・ チャコールフィルタ：2枚 (610mm×610mm×290mm：107.9ℓ/枚)	チャコールフィルタは、107.9ℓタイプ 2枚のため、容積は 216ℓとなる。
有機液体	・ 25ℓステンレス容器 3本 (2本 100%充填+1本 40%充填)	25ℓステンレス容器 3本のため、容積は 75ℓとなる。
無機液体	・ 25ℓポリ容器 2本 (2本 100%充填)	25ℓポリ容器 2本のため、容積は 50ℓとなる。
200ℓドラム缶 換算値	—	合計容積は、450ℓ+250ℓ+350ℓ+216ℓ+74ℓ+216ℓ+75ℓ+50ℓ =1,681ℓとなる。したがって、1,681ℓ/200ℓ=8.41本となり、四捨 五入により 200ℓドラム缶換算値は 8本となる。

\*1 廃棄物の種類及び廃棄物容器は、一例ですので、実態に合わせて算出して下さい。

\*2 100%充填されていない廃棄物容器も、100%充填されているものとして計上して下さい。

\*3 フィルタの容積の算出は、許可廃棄業者へ引き渡すときの方法に準じて算出して下さい。